

平成20年度 武蔵野市男女共同参画に関する意識調査

日頃、市の男女共同参画施策推進につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

武蔵野市では、市民のみなさまのご意見・ご要望を男女共同参画施策推進に反映させていくために、「平成20年度 武蔵野市男女共同参画に関する意識調査」を行うことになりました。

調査の対象者は、住民基本台帳から無作為に満20歳以上の男女1,500人のみなさまを選ばせていただきました。調査結果はすべて数字だけで統計的処理をいたしますので、個人が特定されることはありません。この調査目的にのみ使用し、他の目的で使われることは一切ございません。

お忙しいところ恐縮ですが、よろしくご協力くださいますようお願い申し上げます。

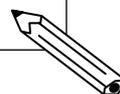
平成20年7月

武蔵野市長 **邑上守正**

ご記入にあたってのお願い

1. 対象となったご本人がお答えください。
2. ご記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
3. 回答は最初から1問ずつ、最後までお答えください。ただし、質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので（ ）内のことわり書きをよくお読みください。
4. お答えは、あてはまる番号に○印をつけてください。
5. 質問によって、○をつける数を「ひとつ」「いくつでも」などと指定しておりますので、その範囲内でお答えくださるようお願いいたします。
6. 「その他」にあてはまる場合は、〔 〕内にできるだけ具体的にその内容を記入してください。

ご記入がおわりましたら…



ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒にて7月28日(月)までにご投函ください(切手は貼る必要ありません)。

なお、調査の内容、考え方、記入の仕方などについて、わからないことがございましたら、お気軽に下記までご連絡ください。

【お問い合わせ先】 武蔵野市企画政策室
市民協働推進課 男女共同参画担当
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28
電話 (0422) 60-1869
FAX (0422) 51-9540

家事・育児・介護についておたずねします

問1 あなたの理想として、男女の仕事と家事・育児・介護の役割分担は、この中のどれがもっとも望ましいと思いますか。(1つに○)

1. 男は仕事、女は家事・育児・介護を分担する
2. 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護はおもに女が分担する
3. 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護も平等に分担する
4. 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護はおもに男が分担する
5. 女は仕事、男は家事・育児・介護を分担する
6. 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護はなるべく家事・育児・介護サービスによってまかなう
7. わからない

問2 あなたのご家庭では、現在、仕事と家事・育児・介護の役割分担をどのようにしていますか。(1つに○)

1. 男は仕事、女は家事・育児・介護を分担している
2. 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護はおもに女が分担している
3. 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護も平等に分担している
4. 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護はおもに男が分担している
5. 女は仕事、男は家事・育児・介護を分担している
6. 男女ともに仕事をし、家事・育児・介護はなるべく家事・育児・介護サービスを利用している
7. 分担するような相手はいない
8. どれにもあてはまらない

問3 平成18年社会生活基本調査（総務省）によると、平日の家事関連時間（家事、介護・看護、育児、買い物の合計時間）は女性の3時間32分に対して、男性は30分となっています。男性が家事にあまり参加していないのはなぜだと思いますか。

(いくつでも○)

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 1. 仕事が忙しく疲れるから | 6. 家事は女性の仕事であると考えているから |
| 2. 男性の家事参加を女性が望んでいないから | 7. 男性が家事をするのは世間体が悪いと考えているから |
| 3. 勤務時間が長く、家にいる時間が少ないから | 8. 家事の仕方がよくわからないから |
| 4. 家事をする手が足りているから | 9. その他〔具体的に： 〕 |
| 5. 子どものときから家事をするようにしつけられていないから | 10. わからない |

問4 父親の子育て参加が少ないと言われています。その理由は何だと思えますか。

(いくつでも○)

1. 子どもとのコミュニケーションのとり方（話題、遊び）がわからない
2. 子どもの世話の仕方がわからない
3. 子どもと接する時間がない
4. 父親が子育てに関われる場が少ない
5. 子育てをしている父親同士の交流が少ない
6. 子育てに関心が持てない
7. その他〔具体的に： _____ 〕
8. わからない

問5 父親が子育てにもっと関わるためには、何が有効だと思えますか。(3つまで○)

1. 職場で父親が育児休業・育児時間を積極的に取得できるような制度を導入する
2. 父親を対象とした育児教室を開く
3. 父子で参加できる催し物を開催する
4. 地域の催しやスポーツ活動のリーダー等に積極的に父親を呼び込む
5. 父親同士が交流できる催し物を開催する
6. 社会全般に父親が子育てに関わるのはあたりまえという風潮をつくる
7. その他〔具体的に： _____ 〕
8. わからない

問6 武蔵野市には、子育てを支援してほしい人（利用会員）と子育てを支援する人（協力会員）の相互理解と信頼のもとに、地域や家庭の子育てを支援する会員制の保育サービス（有料）を行う民間団体があります。あなたはこのような保育サービスがあることを知っていますか。(1つに○)

1. 利用会員として利用している
2. 協力会員として参加（協力）している
3. 知っているが、利用または参加（協力）はしていない
4. 知らない

問6-1 (問6で「3」、「4」と回答した方に)

あなたは、このような保育サービスを利用したり、参加（協力）したいと思いますか。(1つに○)

1. 利用会員として利用したい
2. 協力会員として参加（協力）したい
3. 利用も参加（協力）もしたいとは思わない

問7 あなたは、ご家族を介護したご経験がありますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 1. 介護をした経験がある・現在
介護をしている | 2. 介護をした経験はない |
|-----------------------------|---------------|

→ 問7-1 (問7で「1」と回答した方に)

ご家族の介護で、どのようなことが不安でしたか(不安ですか)。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 介護者の肉体的な負担が大きいこと2. 介護者の精神的な負担が大きいこと3. 介護に要する経済的な負担が大きいこと4. 家を留守にできない、自由に行動できないこと5. 介護をするために、仕事を辞めなければならなくなること6. 主な介護者の他に、助けてくれる家族・知人がいないこと7. 介護に必要な知識が少ないこと8. 介護サービスについての情報が少ないこと9. その他〔具体的に： _____ 〕10. 特に困らない11. わからない |
|---|

問8 現在、介護は主として女性が担っていることが多いと言われています。あなたは、男性が女性とともに介護を担っていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(3つまで○)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 男性が介護休業制度を利用しやすくする2. 労働時間の短縮や在宅勤務、フレックスタイムの導入などを進めるよう企業に働きかける3. 男性のための介護講座を開催する4. 男性自身が介護に取り組む意識を持つよう啓発活動を行う5. 男性が気軽に介護の問題について相談できる窓口を設ける6. 家族の間で介護について十分に話し合う7. 社会全般に男性でも介護をするのはあたりまえという風潮をつくる8. その他〔具体的に： _____ 〕9. わからない |
|--|

※ フレックスタイム制：総労働時間だけを決めて、出退勤の時刻は労働者の自由に任せる制度

問 10 職場で性別による差別があると思いますか。(1つに○)

1. 現実に今の職場である
2. 社会一般を見るとあると思う
3. ないと思う

→問 10-1 (問 10で「1」「2」と答えた方に)

次にあげたようなことがらの中で、あなたが実際に見たり、経験したことはありますか。(いくつでも○)

1. 女性の採用は、パート・アルバイト・嘱託の形が多い
2. 同時期に入社して同じ仕事をして、女性の賃金は男性より低い
3. 女性は責任のある仕事をさせてもらえない
4. 定年の年齢に男女差がある
5. 男女で昇進の機会や早さが異なる
6. 男女で研修の機会や内容が異なる
7. お茶くみ、雑用は女性に割当てられている
8. 無神経・当人は自覚していないセクシュアル・ハラスメントがある
9. 女性は長期間勤められない雰囲気がある
10. 男性にも家事や子育て・介護などの責任があることを理解してもらえない
11. その他〔具体的に： 〕
12. 特にない

問 11 女性が仕事を続けていく場合、どのような障害があると思いますか。(いくつでも○)

1. 女性が長く勤めることに反対する職場の雰囲気
2. 育児・介護休業などに関する職場の上司や同僚の無理解
3. 育児・介護休業などの休業中の所得保障
4. 長時間労働を容認する職場の雰囲気
5. 保育園や学童保育などの不備
6. 夫や家族の反対や無理解
7. 夫の転勤や本人の転勤
8. 病人および高齢者の看護・介護
9. その他〔具体的に： 〕
10. 障害はない
11. わからない

問 12 従来は正社員が担ってきた基幹的な仕事を、パートや派遣など非正社員が担うことが増えています。あなたは、それについてどのようにお考えですか。(3つまで○)

1. 同じことをやるのであれば時間給に均したら同じになるようにすべき
2. せめて雇用保険や社会保険は完全に加入できるようにすべき
3. 労働基準法に定められた有給休暇などはきちんと取らせるべき
4. 福利厚生は正社員と同じ扱いにすべき
5. 長期間継続雇用をすべき
6. 労働基準法などに定められたパートタイマーでも主張・行使できる権利について、明確に教えるべき
7. 正社員とパートタイマーなどを差別する意識はなくすべき
8. 労働組合にもっと積極的に加入しなければ、処遇の改善はありえない
9. その他〔具体的に： _____ 〕
10. わからない

問 13 子育て、介護、家事などのために一時期家庭に入った女性が再就職を希望する場合、どのような援助や対策が役に立つと思いますか。(3つまで○)

1. 再雇用制度
2. 育児・介護休業制度
3. 子育てや介護のための短時間勤務制度、又はフレックスタイム制度
4. 再就職のための講座やセミナー
5. 再就職のためのキャリアカウンセリング
6. 再就職のための職業訓練にかかる費用の助成制度
7. 保育所、学童保育など子育てしやすい環境の充実
8. ホームヘルパーや介護福祉施策の充実
9. (通勤時間が短い) 地元地域での求人情報の提供
10. 家族の理解と協力
11. その他〔具体的に： _____ 〕
12. 特に必要な援助や対策はない

問 14 仕事と生活（家庭、余暇、地域活動、自己啓発などを含む）のバランスを保ち、仕事と生活のいずれも犠牲にすることなく自己実現をめざす社会の形成に向けて、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の推進が求められています。
あなたは「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」という言葉を見聞きしたことがありますか。（1つに○）

1. ある	2. ない
-------	-------

問 15 あなたは、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」のために必要なものは何だと思いますか。（3つまで○）

1. 労働法等の法制度を変えること
2. 保育・介護サービスが向上すること
3. 仕事も家庭も大切にするという意識を啓発すること
4. ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業に補助金を出すこと
5. フレックスタイム制度の導入など労働時間を選べるようにすること
6. 男女とも残業や休日出勤を減らし、労働時間が短縮されること
7. 育児・介護などのための休暇取得や労働時間短縮のしくみが整うこと
8. 育児・介護休業取得者の代わりとなる人材の補充
9. 育児や介護のために退職した職員の復帰・再就職が可能になるような制度が整うこと
10. 男女の雇用機会や昇進、待遇格差がなくなること
11. 社内に保育施設が整っていくこと
12. パートタイマー、契約・派遣社員などの労働条件が向上すること
13. 個人が仕事や家事の能力を高め、効率的に時間を使えるようにすること
14. 「男は仕事、女は家庭」といった固定的性別役割分担意識の解消
15. 地域全体で子育てを見守り、助けあうこと
16. 働いている男女が地域活動に参加しやすいよう配慮すること
17. その他〔具体的に： 〕
18. 特にない

社会参加についておたずねします

問 16 あなたは、ここにあげたさまざまな活動の中で、どのような活動に力点を置いていますか。また、今後、もっと力点を置きたい活動はどれですか。下の選択肢の中から選び、上位3つまでの番号を下の枠の中にご記入ください。

1. P T Aの役員や子ども会などの世話役 2. 共同購入などの消費者活動 3. 環境保護・教育問題などの市民運動 4. 高齢者や障害者のための活動 5. 在住外国人支援のための活動 6. 子どもの見守りや子育て支援の活動 7. I Tなど仕事で培った知識や経験を活かした活動 8. 趣味、スポーツ、習い事 9. 自己啓発のための学習活動 10. コミュニティセンターや自治会・商店会などの活動 11. 市や都から委嘱された委員 12. N P O活動への参加 13. シルバー人材センターでの活動 14. その他〔具体的に： 〕 15. 特にない
--

現在、力点を置いている活動	1位：()	2位：()	3位：()
---------------	-------------------	-------------------	-------------------

今後、もっと力点を置きたい活動	1位：()	2位：()	3位：()
-----------------	-------------------	-------------------	-------------------

問 17 武蔵野市では、市の委員会等における女性の割合は 35.1%、市議会における女性議員の割合は 23.1%（平成 20 年 4 月 1 日現在）となっています。あなたは、この数字をどのように思いますか。（1つに○）

1. 女性の割合をもっと増やす必要がある 2. 現状のままでよい 3. 女性の割合はもっと少なくてよい 4. その他〔具体的に： 〕 5. わからない
--

問 18 あなたは、自ら自立できる収入を得るとともに、生きがいの感じられる「新しい仕事づくり（起業やNPOなどの活動）」を身近な地域の中で行ってみたいと思いますか。

(1つに○)

1. 積極的にやってみたい
2. 専門家の助言・手助けがあればやってみたい
3. 公的機関の指導や助言などあればやってみたい
4. 行政の資金援助や低金利の融資制度があればやってみたい
5. すでにやっている → 問18-3にもお答えください
6. やってみたいと思わない
7. わからない

問 18-1、問 18-2
にもお答えください

→ 問 18-1 (問 18で「1」「2」「3」「4」と答えた方に)

あなたが「新しい仕事づくり」を行ってみたい理由は何ですか。

(2つまで○)

1. 普通の仕事よりも、自分の生きがいになりそうだから
2. 現在の労働環境では、自分の望む仕事につけないから
3. 地域の人たちの役に立ちながら、収入を得ることができるから
4. 自分の知識・経験を十分生かせるから
5. 地域内に仕事があれば、家事・育児・高齢者介護等の両立がしやすいから
6. 通勤時間が短くてすむから
7. その他〔具体的に： 〕

→ 問 18-2 (問 18で「1」「2」「3」「4」と答えた方に)

もし、あなたが「新しい仕事づくり」を行うとしたら、どのようなことをしてみたいと思いますか。(2つまで○)

1. まちづくりや仕事づくりに関する研究や調査活動を行う
2. 行政・企業などの広報を受注して制作する編集サービスを行う
3. 学習活動、趣味の教室などを行う
4. 子どもの保育や教育のニーズに応えるサービスを行う
5. 高齢者・障害者のための福祉的サービスを行う
6. 働く女性たちが困った時に備えての援助サービスを行う
7. きめ細かい要望に応えられるお弁当づくり、喫茶店経営などを行う
8. 一定の所得が得られるなら、何でもよい
9. その他〔具体的に： 〕
10. わからない

問 20 あなたは、配偶者間での暴力（ドメスティック・バイオレンス）について見聞きしたことがありますか。（いくつでも○）

- 1. 被害にあっている人を知っている
- 2. 自分が直接に被害を受けたことがある
- 3. 人づてに聞いたことがある
- 4. テレビ・新聞・本・雑誌など、メディアを通してなら知っている
- 5. ドメスティック・バイオレンスという言葉自体を知らない
- 6. その他〔具体的に： _____ 〕
- 7. 見聞きしたことはない

問 21 あなたは、家庭のことや夫婦関係、生き方などさまざまな問題を抱えたとき、どこに相談していますか。（いくつでも○）

- 1. 市の相談機関（母子・女性相談、法律相談、家族のもめごと相談など）
- 2. 民間の相談機関（弁護士、NPO など）
- 3. 都の相談機関（東京ウィメンズプラザ、東京都女性相談センターなど）
- 4. 友人、知人
- 5. 家族、親戚
- 6. 誰にも相談しない
- 7. どこに相談していいかわからない
- 8. その他〔具体的に： _____ 〕

問 22 あなたは、配偶者間での暴力（ドメスティック・バイオレンス）の対策や防止のために、今後、市の施策としてどのような事業が必要だと思えますか。（3つまで○）

- 1. 被害者を一時的に保護する施設（シェルター）を増やす
- 2. 相談窓口を増やすなど相談しやすい条件整備をする
- 3. 被害の実態や被害者の支援策を市民に広く知らせる
- 4. 被害者に対する自立支援（子どもの教育、住宅の確保、就労支援など）を行う
- 5. 被害者支援に携わるもの（警察、医師、相談機関職員など）の意識向上を図る
- 6. 被害者支援活動（シェルターや自助グループの運営など）を実施している民間機関を支援する
- 7. 加害者に対する再発防止教育を行う
- 8. 青少年に対する暴力防止教育を行う
- 9. その他〔具体的に： _____ 〕
- 10. わからない

※ 自助グループとは被害者同士が集まって意見を交換し、互いに援助しあう集団

男女平等についておたずねします

問 23 男女雇用機会均等法や男女共同参画社会基本法といった法律の整備がすすめられるなど、男女平等に関する動きが高まっています。あなたは男女平等に関する動きについてどの程度関心をお持ちですか。(1つに○)

1. 強い関心を持っている
2. ある程度関心を持っている
3. あまり関心を持っていない
4. まったく関心を持っていない
5. わからない

問 24 あなたは、ここにあげている武蔵野市の施策や、男女共同参画に関することから知っていますか。(項目ごとに、1つに○)

		知っている内容まで一応	ある聞いたことは	知らない
武蔵野市の施策	情報誌「まなこ」の発行	1	2	3
	武蔵野市男女共同参画計画	1	2	3
	むさしのヒューマン・ネットワークセンター	1	2	3
	武蔵野市男女共同参画講演会・講座	1	2	3
	法律相談	1	2	3
	母子・女性相談	1	2	3
	人権身の上相談	1	2	3
	家庭のもめごと相談	1	2	3
ことながら男女共同参画に関する	男女雇用機会均等法	1	2	3
	育児・介護休業制度	1	2	3
	男女共同参画社会基本法	1	2	3
	配偶者暴力防止法 (DV 防止法)	1	2	3
	セクシュアル・ハラスメント	1	2	3

問 25 児童・生徒の男女平等の意識を育てるために、学校教育で必要な取り組みは何だと思えますか。(3つまで○)

1. 男女が協力して物事を進める必要性を学ぶこと
2. 一人ひとりの個性や立場を尊重することを学ぶこと
3. 家庭や家族の多様なあり方について学ぶこと
4. 男女ともに切磋琢磨できる部活動を増やしていくこと
5. 生活指導や進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮すること
6. 教員に男女平等の研修を推進すること
7. 管理職（校長や教頭）に女性を増やしていくこと
8. その他〔具体的に： _____ 〕
9. 特にない
10. わからない

問 26 あなたは、男女共同参画社会を実現するための市の施策として、どのようなことを望みますか。(3つまで○)

1. 男女共同参画への理解を深めるための講習会や学習機会の充実
2. 男女共同参画問題総合相談窓口の創設
3. 女性をとりまくさまざまな問題の実態調査や研究の実施
4. 男女共同参画問題などについての情報誌や資料コーナーの充実
5. むさしのヒューマン・ネットワークセンターの充実
6. 就業で役立つ訓練・相談の実施
7. 男女共同参画条例や男女共同参画宣言の制定
8. 男女共同参画行動計画の推進とPRの強化
9. 保育・介護制度の充実
10. 女性の健康対策の充実
11. 学校での男女平等意識を育てる教育の推進
12. ドメスティック・バイオレンスの対策
13. 市の審議会などへの女性の登用推進
14. その他〔具体的に： _____ 〕
15. 特にない
16. わからない

問 27 武蔵野市では、男女共同参画社会づくりの拠点として「むさしのヒューマン・ネットワークセンター」（武蔵境市政センター2階）を開設しています。あなたが、「むさしのヒューマン・ネットワークセンター」に期待するものは何ですか。（3つまで○）

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 講座やシンポジウムなどの事業が充実していること2. 男女平等を推進するうえで必要な情報を提供すること3. 自主的な活動のために会議室や印刷室が自由に使えること4. さまざまな活動をしている個人やグループの交流・情報交換の場と支援があること5. 起業セミナーや職業訓練など、女性の就業支援を行うこと6. 男性の意識改革・生活技術（家事・介護など）の向上のための講座が充実していること7. 講座に参加する時に、幼児を預かってくれること8. 問題解決のための総合相談窓口があること9. 情報発信のホームページが充実していること10. 特に期待するものはない11. その他〔具体的に： 〕 |
|--|

問 28 あなたが日頃から男女平等や男女共同参画について感じていること、市の施策についてのご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

--

基本項目（フェイスシート）

F 1 あなたの性別はどちらですか。（1つに○）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F 2 あなたの年齢はいくつですか。（1つに○）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20～29歳 | 3. 40～49歳 | 5. 60～69歳 |
| 2. 30～39歳 | 4. 50～59歳 | 6. 70歳以上 |

F 3 あなたは結婚していらっしゃいますか。（1つに○）

- | | | |
|-------|--------------|--------------|
| 1. 未婚 | 2. 既婚（配偶者あり） | 3. 既婚（配偶者なし） |
|-------|--------------|--------------|

→ F3-1 （F3で「2」と答えた方に）

あなたは、共働きですか（臨時・パートなどの有職者を含む）。（1つに○）

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 共にフルタイムの正社員 | 4. 共働きをしていない |
| 2. 一方はフルタイムの非正社員 | 5. 夫婦とも無職 |
| 3. 一方はパートタイムの非正社員 | |

F 4 お宅の家族形態は、この中のどれにあたりますか。（1つに○）

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 夫婦のみ（一世代世帯） | 4. 親と子どもと孫（三世代世帯） |
| 2. 親と未婚の子ども（核家族） | 5. ひとり暮らし |
| 3. 親と子ども夫婦（二世代世帯） | 6. その他 |

F 5 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。いらっしゃるとすれば、一番下のお子さんは次のどの段階にあたりますか。（1つに○）

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 1歳未満 | 6. 高校生 |
| 2. 1～2歳 | 7. 短大・各種学校・大学生 |
| 3. 3歳～小学校入学前 | 8. 社会人 |
| 4. 小学生 | 9. 子どもはいない |
| 5. 中学生 | |

F 6 あなたは、武蔵野市に何年くらい住んでいらっしゃいますか。(1つに○)

※1度転出した方は通算年数で数えてください。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 1年未満 | 4. 10年～20年未満 |
| 2. 1年～3年未満 | 5. 20年以上 |
| 3. 3年～10年未満 | 6. わからない |

F 7 あなたのご職業は次のどれですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 自営業(商工、サービス) | 6. 専業主婦・主夫 |
| 2. 専門職・自由業 | 7. パートタイマー |
| 3. 事務系の勤め人 | 8. 学 生 |
| 4. 労務系の勤め人 | 9. 無 職 |
| 5. 会社又は団体の役員 | 10. その他 |

ご協力ありがとうございました。

※ 返信用の封筒に、ご住所・お名前などは記入しないでください。

武蔵野市男女共同参画に関する意識調査〈発送数・回収率〉

発送数	1,500
回収数	550
回収率	36.7%
白票	4
有効回収数	546
有効回収率	36.4%

No.	項目名	ページ
1	連番	1
2	Q1.男女の仕事と家事等の役割分担の理想	1
3	Q2.家庭での役割分担	1
4	Q3.男性が家事にあまり参加していない理由	1
5	Q4.父親の子育ての参加が少ない理由	1
6	Q5.父親が子育てに関わる為に有効な事	2
7	Q6.会員制の保育サービスの認知度	2
8	Q6-1.保育サービスの利用・参加意向	2
9	Q7.家族の介護の経験	2
10	Q7-1.家族の介護で不安なこと	2
11	Q8.男性が介護に参加する為に必要な事	2
12	Q9.就業の有無	3
13	Q9-1.働いている目的	3
14	Q10.職場での性差別の有無	3
15	Q10-1.実際に見たり、経験した事	3
16	Q11.女性が仕事を続けていく場合の障害	4
17	Q12.正社員の仕事をパート等が担う事について	4
18	Q13.女性が再就職を希望する時の援助等	4
19	Q14.「仕事と生活の調和」の認知度	4
20	Q15.仕事と生活の調和の為に必要な事	5
21	Q16-1-1.現在力点を置いている:1位	5
22	Q16-1-2.現在力点を置いている:2位	5
23	Q16-1-3.現在力点を置いている:3位	6
24	Q16-2-1.今後力点を置きたい:1位	6
25	Q16-2-2.今後力点を置きたい:2位	6
26	Q16-2-3.今後力点を置きたい:3位	7
27	Q17.市の委員会等の女性の割合について	7
28	Q18.「新しい仕事づくり」を行いたい程度	7
29	Q18-1.行ってみたい理由	7
30	Q18-2.「新しい仕事づくり」で行いたい事	8
31	Q18-3.取り組む中で必要な支援	8
32	Q19-ア.暴力の程度:平手でたたく	8
33	Q19-イ.暴力の程度:大声で怒鳴りつける	8
34	Q19-ウ.暴力の程度:殺すと言う、殴るふり	8
35	Q19-エ.暴力の程度:誰のおかげで生活して等	8
36	Q19-オ.暴力の程度:外出を制限する	9
37	Q19-カ.暴力の程度:交友関係等細かく監視	9
38	Q19-キ.暴力の程度:何を言っても無視する	9
39	Q19-ク.暴力の程度:性的な行為を強要する	9
40	Q20.配偶者間での暴力について見聞きした事	9
41	Q21.家庭の事等問題を抱えた時の相談先	9
42	Q22.暴力の対策に必要な市の事業	10
43	Q23.男女平等に関する動きについての関心	10
44	Q24-1.市の施策:情報誌「まなこ」	10
45	Q24-2.市の施策:男女共同参画計画	10
46	Q24-3.市の施策:むさしのヒューマン・ネットワークセンター	10
47	Q24-4.市の施策:男女共同参画講演会・講座	10
48	Q24-5.市の施策:法律相談	10
49	Q24-6.市の施策:母子・女性相談	11
50	Q24-7.市の施策:人権身の上相談	11
51	Q24-8.市の施策:家庭のもめごと相談	11
52	Q24-9.共同参画:男女雇用機会均等法	11
53	Q24-10.共同参画:育児・介護休業制度	11
54	Q24-11.共同参画:男女共同参画社会基本法	11
55	Q24-12.共同参画:配偶者暴力防止法	11
56	Q24-13.共同参画:セクシュアル・ハラスメント	11
57	Q25.児童・生徒の男女平等意識を育てる為に	12
58	Q26.男女共同参画社会実現の為に市の施策	12
59	Q27.むさしのヒューマン・ネットワークセンターに期待する事	12
60	F1.性別	12
61	F2.年齢	12
62	F3.婚姻状況	13
63	F3-1.共働きの有無	13
64	F4.家族形態	13
65	F5.一番下のお子さん	13
66	F6.武蔵野市での居住年数	13
67	F7.職業	13

(1) 連番...(数量)

合計	149331.0
平均	273.5
分散(n-1)	24888.5
標準偏差	157.8
最大値	546.0
最小値	1.0
無回答	0
全体	546

(2) Q1.男女の仕事と家事等の役割分担の理想...(SA)

No.	カテゴリ名	n	%
1	男は仕事、女は家事等を分担する	93	17.0
2	男女共に仕事、家事等は主に女	29	5.3
3	男女共に仕事、家事等も平等に分担	337	61.7
4	男女共に仕事、家事等は主に男	3	0.5
5	女は仕事、男は家事等を分担する	1	0.2
6	男女共に仕事、家事等はサービス利用	35	6.4
7	わからない	36	6.6
	無回答	12	2.2
	全体	546	100.0

(3) Q2.家庭での役割分担...(SA)

No.	カテゴリ名	n	%
1	男は仕事、女は家事等を分担する	134	24.5
2	男女共に仕事、家事等は主に女	83	15.2
3	男女共に仕事、家事等も平等に分担	66	12.1
4	男女共に仕事、家事等は主に男	2	0.4
5	女は仕事、男は家事等を分担する	2	0.4
6	男女共に仕事、家事等はサービス利用	2	0.4
7	分担するような相手はいない	111	20.3
8	どれにもあてはまらない	134	24.5
	無回答	12	2.2
	全体	546	100.0

(4) Q3.男性が家事にあまり参加していない理由...(MA)

No.	カテゴリ名	n	%
1	仕事が忙しく疲れるから	221	40.5
2	男性の家事参加を女性が望んでない	30	5.5
3	勤務時間が長く家にいる時間が少	343	62.8
4	家事をする手が足りているから	25	4.6
5	子供の時から家事を躰けられてない	204	37.4
6	家事は女性の仕事であると考えて	220	40.3
7	男性がするのは世間体が悪いと考え	32	5.9
8	家事の仕方がよくわからないから	178	32.6
9	その他	34	6.2
10	わからない	13	2.4
	無回答	8	1.5
	全体	546	100.0

累計 (n)	累計 (%)
1308	239.6

(5) Q4.父親の子育てへの参加が少ない理由...(MA)

No.	カテゴリ名	n	%
1	コミュニケーションの仕方がわからない	134	24.5
2	子供の世話の仕方がわからない	125	22.9
3	子供と接する時間がない	381	69.8
4	父親が子育てに関われる場面が少	133	24.4
5	父親同士の交流が少ない	160	29.3
6	子育てに関心が持てない	52	9.5
7	その他	51	9.3
8	わからない	33	6.0
	無回答	18	3.3
	全体	546	100.0

累計 (n)	累計 (%)
1087	199.1

(6) Q5.父親が子育てに関わる為に有効な事...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	職場で育児休業等取得できる制度	300	54.9
2	父親を対象とした育児教室を開く	71	13.0
3	父子で参加できる催し物を開催する	169	31.0
4	地域の催し物等に父親を呼び込む	94	17.2
5	父親同士が交流できる催し物を開催	89	16.3
6	父の子育ては当たり前という風潮を	355	65.0
7	その他	39	7.1
8	わからない	24	4.4
	無回答	15	2.7
	全体	546	100.0

累計 (n)	累計 (%)
1156	211.7

(7) Q6.会員制の保育サービスの認知度...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	利用会員として利用している	15	2.7
2	協力会員として参加している	3	0.5
3	知っているが利用等していない	119	21.8
4	知らない	382	70.0
	無回答	27	4.9
	全体	546	100.0

(8) Q6-1.保育サービスの利用・参加意向...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	利用会員として利用したい	111	22.2
2	協力会員として参加したい	119	23.8
3	利用も参加もしたいとは思わない	220	43.9
	無回答	51	10.2
	非該当	45	
	全体	501	100.0

(9) Q7.家族の介護の経験...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	介護をした経験がある・している	195	35.7
2	介護をした経験はない	333	61.0
	無回答	18	3.3
	全体	546	100.0

(10) Q7-1.家族の介護で不安なこと...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	介護者の肉体的な負担が大きい	107	54.9
2	介護者の精神的な負担が大きい	118	60.5
3	介護に要する経済的な負担が大きい	61	31.3
4	家を留守にできない等	79	40.5
5	介護の為に仕事を辞めなければ	31	15.9
6	主な介護者の他に助けがいない	21	10.8
7	介護に必要な知識が少ない	26	13.3
8	介護サービスについての情報が少ない	29	14.9
9	その他	11	5.6
10	特に困らない	5	2.6
11	わからない	2	1.0
	無回答	0	0.0
	非該当	351	
	全体	195	100.0

累計 (n)	累計 (%)
490	251.3

(11) Q8.男性が介護に参加する為に必要な事...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	男性が介護休暇制度を利用しやすく	291	53.3
2	労働時間の短縮、在宅勤務等進める	282	51.6
3	男性の為に介護講座を充実する	68	12.5
4	男性自身が介護に取り組む意識を持	143	26.2
5	介護問題について相談できる窓口を	79	14.5
6	家族間で介護について十分話し合う	178	32.6
7	介護参加を妨げる社会通念を変える	282	51.6
8	その他	19	3.5
9	わからない	12	2.2
	無回答	17	3.1
	全体	546	100.0

累計 (n)	累計 (%)
1371	251.1

(12) Q9.就業の有無...(SA)

No.	カテゴリ一名	n	%
1	正社員・正職員	198	36.3
2	非正社員で週35時間以上働いている	59	10.8
3	非正社員で週労働時間は35時間未満	63	11.5
4	していない	201	36.8
	無回答	25	4.6
	全体	546	100.0

(13) Q9-1.働いている目的...(MA)

No.	カテゴリ一名	n	%
1	家庭の主たる収入を得るため	197	61.6
2	家計補助のため	59	18.4
3	家業だから	19	5.9
4	病気や老後などに備えて貯蓄する	87	27.2
5	経済的に自立したいから	91	28.4
6	仕事を通して社会とのつながりが	127	39.7
7	働くのが楽しいから	90	28.1
8	自己の能力や人格を高め、成長する	108	33.8
9	自分の能力・技能を生かしたい	103	32.2
10	仕事を通してもっと友人を得たい	33	10.3
11	時間の余裕があるから	20	6.3
12	家に閉じこもってたくないから	71	22.2
13	自分の自由になるお金を得るため	104	32.5
14	職業を持つのはあたり前だから	103	32.2
15	その他	13	4.1
16	わからない	0	0.0
	無回答	0	0.0
	非該当	226	
	全体	320	100.0

累計 (n)	累計 (%)
1225	382.8

(14) Q10.職場での性差別の有無...(SA)

No.	カテゴリ一名	n	%
1	現実に今の職場である	46	8.4
2	社会一般を見るとあると思う	355	65.0
3	ないと思う	93	17.0
	無回答	52	9.5
	全体	546	100.0

(15) Q10-1.実際に見たり、経験した事...(MA)

No.	カテゴリ一名	n	%
1	女性の採用はパート等の形が多い	161	40.1
2	同時期入社でも女性の賃金は低い	121	30.2
3	女性は責任ある仕事をさせてもらえ	80	20.0
4	定年の年齢に男女差がある	16	4.0
5	男女で昇進の機会や早さが異なる	150	37.4
6	男女で研修の機会や内容が異なる	46	11.5
7	お茶くみ等は女性に割当てられている	148	36.9
8	無神経・セクシュアル・ハラスメントがある	112	27.9
9	女性は長期間勤められない雰囲気	84	20.9
10	男性の子育て等理解してもらえない	102	25.4
11	その他	26	6.5
12	特にな	20	5.0
	無回答	9	2.2
	非該当	145	
	全体	401	100.0

累計 (n)	累計 (%)
1075	268.1

(16) Q11.女性が仕事を続けていく場合の障害...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%		
1	女性が長く勤める事に反対する雰囲気	113	20.7		
2	育児休業等上司や同僚の無理解	254	46.5		
3	育児休業等の休業中の所得保障	228	41.8		
4	長時間労働を容認する職場の雰囲気	159	29.1		
5	保育園や学童保育等の不備	260	47.6		
6	夫や家族の反対や無理解	112	20.5		
7	夫の転勤や本人の転勤	124	22.7		
8	病人および高齢者の看護・介護	190	34.8		
9	その他	29	5.3		
10	障害はない	8	1.5		
11	わからない	24	4.4		
	無回答	29	5.3	累計 (n)	累計 (%)
	全体	546	100.0	1530	280.2

(17) Q12.正社員の仕事をパート等が担う事について...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%		
1	時間給に均したら同じになるように	227	41.6		
2	雇用保険等完全に加入できるように	304	55.7		
3	有給休暇等はきちんと取らせるべき	203	37.2		
4	福利厚生は正社員と同じ扱いに	137	25.1		
5	長期間継続雇用をすべき	131	24.0		
6	パートでも主張できる権利を明確に	107	19.6		
7	パートを差別する意識が強い結果	135	24.7		
8	労働組合加入しなければ改善はない	31	5.7		
9	その他	25	4.6		
10	わからない	29	5.3		
	無回答	18	3.3	累計 (n)	累計 (%)
	全体	546	100.0	1347	246.7

(18) Q13.女性が再就職を希望する時の援助等...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%		
1	再雇用制度	283	51.8		
2	育児・介護休業制度	211	38.6		
3	子育て等の為の短時間勤務制度等	289	52.9		
4	再就職の為の講座やセミナー	37	6.8		
5	再就職の為のキャリアカウンセリング	29	5.3		
6	再就職の為の職業訓練等費用の助成	59	10.8		
7	保育所等子育てしやすい環境の充実	274	50.2		
8	ホームヘルパーや介護福祉施設の充実	88	16.1		
9	地元地域での求人情報の提供	73	13.4		
10	家族の理解と協力	125	22.9		
11	その他	8	1.5		
12	特に必要な援助や対策はない	1	0.2		
	無回答	22	4.0	累計 (n)	累計 (%)
	全体	546	100.0	1499	274.5

(19) Q14.「仕事と生活の調和」の認知度...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	ある	208	38.1
2	ない	308	56.4
	無回答	30	5.5
	全体	546	100.0

(20) Q15.仕事と生活の調和の為に必要な事...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%		
1	労働法等の法制度を変える事	82	15.0		
2	保育・介護サービスが向上する事	133	24.4		
3	仕事も家庭も大切という意識を啓発	171	31.3		
4	ワークライフ・バランスに取り組む企業に補助金	49	9.0		
5	フレックスタイム制度導入等労働時間を選べる	138	25.3		
6	男女共残業等減らし、労働時間短縮	159	29.1		
7	育児等の休暇取得等しくみが整う事	142	26.0		
8	育児等休業取得者の代替りの人材	33	6.0		
9	復帰・再就職が可能になる制度	130	23.8		
10	男女の雇用機会等格差がなくなる事	52	9.5		
11	社内に保育施設が整っていく事	52	9.5		
12	パートタイマー等の労働条件が向上する事	103	18.9		
13	個人が仕事等の能力を高め効率的に	50	9.2		
14	固定的性別役割分担意識の解消	66	12.1		
15	地域全体で子育てを見守り助けあう	52	9.5		
16	働いている男女が地域活動に参加	22	4.0		
17	その他	25	4.6		
18	特にない	8	1.5		
	無回答	27	4.9	累計 (n)	累計 (%)
	全体	546	100.0	1494	273.6

(21) Q16-1-1.現在力点を置いている:1位...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	PTA等役員や子供会などの世話役	24	4.4
2	共同購入などの消費者活動	8	1.5
3	環境保護・教育問題などの市民運動	21	3.8
4	高齢者等の為のボランティア活動	41	7.5
5	在住外国人支援の為のボランティア活動	7	1.3
6	子供の見守り等のボランティア活動	21	3.8
7	IT等知識を活かしたボランティア活動	8	1.5
8	趣味、スポーツ、習い事	155	28.4
9	自己啓発の為の学習活動	37	6.8
10	コミュニティセンターや自治会などの役員	8	1.5
11	市や都から委嘱された委員	3	0.5
12	NPO活動への参加	8	1.5
13	シルバー人材センターでの活動	4	0.7
14	その他	12	2.2
15	特にない	123	22.5
	無回答	66	12.1
	全体	546	100.0

(22) Q16-1-2.現在力点を置いている:2位...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	PTA等役員や子供会などの世話役	6	1.1
2	共同購入などの消費者活動	11	2.0
3	環境保護・教育問題などの市民運動	18	3.3
4	高齢者等の為のボランティア活動	24	4.4
5	在住外国人支援の為のボランティア活動	5	0.9
6	子供の見守り等のボランティア活動	29	5.3
7	IT等知識を活かしたボランティア活動	18	3.3
8	趣味、スポーツ、習い事	65	11.9
9	自己啓発の為の学習活動	77	14.1
10	コミュニティセンターや自治会などの役員	9	1.6
11	市や都から委嘱された委員	3	0.5
12	NPO活動への参加	6	1.1
13	シルバー人材センターでの活動	4	0.7
14	その他	6	1.1
15	特にない	11	2.0
	無回答	254	46.5
	全体	546	100.0

(23) Q16-1-3.現在力点を置いている:3位...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	PTA等役員や子供会などの世話役	3	0.5
2	共同購入などの消費者活動	10	1.8
3	環境保護・教育問題などの市民運動	16	2.9
4	高齢者等の為のボランティア活動	15	2.7
5	在住外国人支援の為のボランティア活動	7	1.3
6	子供の見守り等のボランティア活動	16	2.9
7	IT等知識を活かしたボランティア活動	13	2.4
8	趣味、スポーツ、習い事	22	4.0
9	自己啓発の為の学習活動	41	7.5
10	コミュニティセンターや自治会などの役員	14	2.6
11	市や都から委嘱された委員	4	0.7
12	NPO活動への参加	13	2.4
13	シルバー人材センターでの活動	8	1.5
14	その他	3	0.5
15	特にない	27	4.9
	無回答	334	61.2
	全体	546	100.0

(24) Q16-2-1.今後力点を置きたい:1位...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	PTA等役員や子供会などの世話役	9	1.6
2	共同購入などの消費者活動	3	0.5
3	環境保護・教育問題などの市民運動	48	8.8
4	高齢者等の為のボランティア活動	47	8.6
5	在住外国人支援の為のボランティア活動	8	1.5
6	子供の見守り等のボランティア活動	35	6.4
7	IT等知識を活かしたボランティア活動	19	3.5
8	趣味、スポーツ、習い事	98	17.9
9	自己啓発の為の学習活動	55	10.1
10	コミュニティセンターや自治会などの役員	4	0.7
11	市や都から委嘱された委員	7	1.3
12	NPO活動への参加	12	2.2
13	シルバー人材センターでの活動	7	1.3
14	その他	7	1.3
15	特にない	33	6.0
	無回答	154	28.2
	全体	546	100.0

(25) Q16-2-2.今後力点を置きたい:2位...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	PTA等役員や子供会などの世話役	6	1.1
2	共同購入などの消費者活動	4	0.7
3	環境保護・教育問題などの市民運動	33	6.0
4	高齢者等の為のボランティア活動	43	7.9
5	在住外国人支援の為のボランティア活動	16	2.9
6	子供の見守り等のボランティア活動	32	5.9
7	IT等知識を活かしたボランティア活動	18	3.3
8	趣味、スポーツ、習い事	46	8.4
9	自己啓発の為の学習活動	61	11.2
10	コミュニティセンターや自治会などの役員	11	2.0
11	市や都から委嘱された委員	7	1.3
12	NPO活動への参加	12	2.2
13	シルバー人材センターでの活動	8	1.5
14	その他	3	0.5
15	特にない	8	1.5
	無回答	238	43.6
	全体	546	100.0

(26) Q16-2-3.今後力点を置きたい:3位...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	PTA等役員や子供会などの世話役	1	0.2
2	共同購入などの消費者活動	10	1.8
3	環境保護・教育問題などの市民運動	25	4.6
4	高齢者等の為のボランティア活動	16	2.9
5	在住外国人支援の為のボランティア活動	16	2.9
6	子供の見守り等のボランティア活動	35	6.4
7	IT等知識を活かしたボランティア活動	11	2.0
8	趣味、スポーツ、習い事	29	5.3
9	自己啓発の為の学習活動	36	6.6
10	コミュニティセンターや自治会などの役員	16	2.9
11	市や都から委嘱された委員	6	1.1
12	NPO活動への参加	15	2.7
13	シルバー人材センターでの活動	15	2.7
14	その他	2	0.4
15	特になし	15	2.7
	無回答	298	54.6
	全体	546	100.0

(27) Q17.市の委員会等の女性の割合について...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	女性の割合をもっと増やす必要がある	235	43.0
2	現状のままでよい	123	22.5
3	女性の割合はもっと少なくてよい	7	1.3
4	その他	46	8.4
5	わからない	115	21.1
	無回答	20	3.7
	全体	546	100.0

(28) Q18.「新しい仕事づくり」を行いたい程度...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	積極的にやってみたい	39	7.1
2	専門家の助言等があればやってみたい	73	13.4
3	公的機関の指導等あればやってみたい	45	8.2
4	行政の資金援助等あればやってみたい	31	5.7
5	すでにやっている	31	5.7
6	やってみたいと思わない	170	31.1
7	わからない	123	22.5
	無回答	34	6.2
	全体	546	100.0

(29) Q18-1.行ってみたい理由...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	普通の仕事よりも生きがいになりそう	73	38.8
2	自分の望む仕事につけないから	11	5.9
3	役に立ちながら収入を得られる	81	43.1
4	自分の知識・経験を十分生かせる	37	19.7
5	地域内ならば家事等の両立ができる	40	21.3
6	通勤時間が短くてすむから	13	6.9
7	その他	5	2.7
	無回答	20	10.6
	非該当	358	
	全体	188	100.0

累計 (n)	累計 (%)
280	148.9

(30) Q18-2.「新しい仕事づくり」で行いたい事...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	まちづくり等の研究や調査活動	45	23.9
2	行政等の広報を受注制作編集サービス	22	11.7
3	学習活動、趣味の教室等	54	28.7
4	保育や教育のニーズに応えるサービス	41	21.8
5	高齢者等の為の福祉的サービス	44	23.4
6	働く女性が困った時の援助サービス	32	17.0
7	お弁当づくり、喫茶店経営等	20	10.6
8	一定の所得が得られるなら何でも	17	9.0
9	その他	9	4.8
10	わからない	6	3.2
	無回答	8	4.3
	非該当	358	
	全体	188	100.0

累計 (n)	累計 (%)
298	158.5

(31) Q18-3.取り組む中で必要な支援...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	専門家の助言・手助け	13	41.9
2	公的機関の指導や助言	4	12.9
3	行政の資金援助や低金利の融資制度	11	35.5
4	行政の事業委託等に関する情報提供	3	9.7
5	新しい仕事づくりのネットワークづくり	8	25.8
6	その他	3	9.7
7	必要ない	2	6.5
8	わからない	1	3.2
	無回答	0	0.0
	非該当	515	
	全体	31	100.0

累計 (n)	累計 (%)
45	145.2

(32) Q19-ア.暴力の程度:平手でたたく...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	どんな場合でも暴力にあたると思う	336	61.5
2	暴力にあたる場合とあたらない場合	148	27.1
3	暴力にはあたらない	6	1.1
4	わからない	12	2.2
	無回答	44	8.1
	全体	546	100.0

(33) Q19-イ.暴力の程度:大声で怒鳴りつける...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	どんな場合でも暴力にあたると思う	196	35.9
2	暴力にあたる場合とあたらない場合	263	48.2
3	暴力にはあたらない	28	5.1
4	わからない	11	2.0
	無回答	48	8.8
	全体	546	100.0

(34) Q19-ウ.暴力の程度:殺すと言う、殴るふり...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	どんな場合でも暴力にあたると思う	421	77.1
2	暴力にあたる場合とあたらない場合	60	11.0
3	暴力にはあたらない	9	1.6
4	わからない	8	1.5
	無回答	48	8.8
	全体	546	100.0

(35) Q19-エ.暴力の程度:誰のおかげで生活して等...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	どんな場合でも暴力にあたると思う	320	58.6
2	暴力にあたる場合とあたらない場合	135	24.7
3	暴力にはあたらない	26	4.8
4	わからない	14	2.6
	無回答	51	9.3
	全体	546	100.0

(36) Q19-オ 暴力の程度:外出を制限する...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	どんな場合でも暴力にあたると思う	266	48.7
2	暴力にあたる場合とあたらない場合	168	30.8
3	暴力にはあたらない	41	7.5
4	わからない	24	4.4
	無回答	47	8.6
	全体	546	100.0

(37) Q19-カ 暴力の程度:交友関係等細かく監視...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	どんな場合でも暴力にあたると思う	288	52.7
2	暴力にあたる場合とあたらない場合	146	26.7
3	暴力にはあたらない	34	6.2
4	わからない	29	5.3
	無回答	49	9.0
	全体	546	100.0

(38) Q19-キ 暴力の程度:何を言っても無視する...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	どんな場合でも暴力にあたると思う	266	48.7
2	暴力にあたる場合とあたらない場合	152	27.8
3	暴力にはあたらない	41	7.5
4	わからない	36	6.6
	無回答	51	9.3
	全体	546	100.0

(39) Q19-ク 暴力の程度:性的な行為を強要する...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	どんな場合でも暴力にあたると思う	371	67.9
2	暴力にあたる場合とあたらない場合	96	17.6
3	暴力にはあたらない	6	1.1
4	わからない	22	4.0
	無回答	51	9.3
	全体	546	100.0

(40) Q20.配偶者間での暴力について見聞きした事...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	被害にあっている人を知っている	89	16.3
2	自分が直接に被害を受けた事がある	30	5.5
3	人づてに聞いた事がある	110	20.1
4	テレビ等、メディアを通してなら知って	361	66.1
5	言葉自体を知らない	9	1.6
6	その他	8	1.5
7	見聞きした事はない	59	10.8
	無回答	21	3.8
	全体	546	100.0

累計 (n)	累計 (%)
687	125.8

(41) Q21.家庭の事等問題を抱えた時の相談先...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	市の相談機関	44	8.1
2	民間の相談機関	34	6.2
3	都の相談機関	11	2.0
4	友人、知人	308	56.4
5	家族、親戚	264	48.4
6	誰にも相談しない	62	11.4
7	何処に相談していいかわからない	25	4.6
8	その他	26	4.8
	無回答	35	6.4
	全体	546	100.0

累計 (n)	累計 (%)
809	148.2

(42) Q22.暴力の対策に必要な市の事業...(MA)

No.	カテゴリ名	n	%
1	一時的に保護する施設を増やす	222	40.7
2	相談窓口増設等相談しやすい条件整備	289	52.9
3	被害の実態等を市民に広く知らせる	91	16.7
4	被害者に対する自立支援を行う	214	39.2
5	被害者支援に携わるものの意識向上	182	33.3
6	被害者支援活動実施の民間機関を支援	94	17.2
7	加害者に対する再発防止教育を行う	123	22.5
8	青少年に対する暴力防止教育を行う	100	18.3
9	その他	19	3.5
10	わからない	25	4.6
	無回答	23	4.2
	全体	546	100.0

累計 (n)	累計 (%)
1382	253.1

(43) Q23.男女平等に関する動きについての関心...(SA)

No.	カテゴリ名	n	%
1	強い関心を持っている	59	10.8
2	ある程度関心を持っている	324	59.3
3	あまり関心を持っていない	98	17.9
4	まったく関心を持っていない	13	2.4
5	わからない	25	4.6
	無回答	27	4.9
	全体	546	100.0

(44) Q24-1.市の施策:情報誌「まなこ」...(SA)

No.	カテゴリ名	n	%
1	内容まで一応知っている	73	13.4
2	聞いたことはある	107	19.6
3	知らない	327	59.9
	無回答	39	7.1
	全体	546	100.0

(45) Q24-2.市の施策:男女共同参画計画...(SA)

No.	カテゴリ名	n	%
1	内容まで一応知っている	14	2.6
2	聞いたことはある	137	25.1
3	知らない	349	63.9
	無回答	46	8.4
	全体	546	100.0

(46) Q24-3.市の施策:むさしのヒューマン・ネットワークセンター...(SA)

No.	カテゴリ名	n	%
1	内容まで一応知っている	17	3.1
2	聞いたことはある	162	29.7
3	知らない	316	57.9
	無回答	51	9.3
	全体	546	100.0

(47) Q24-4.市の施策:男女共同参画講演会・講座...(SA)

No.	カテゴリ名	n	%
1	内容まで一応知っている	11	2.0
2	聞いたことはある	113	20.7
3	知らない	368	67.4
	無回答	54	9.9
	全体	546	100.0

(48) Q24-5.市の施策:法律相談...(SA)

No.	カテゴリ名	n	%
1	内容まで一応知っている	66	12.1
2	聞いたことはある	278	50.9
3	知らない	163	29.9
	無回答	39	7.1
	全体	546	100.0

(49) Q24-6.市の施策:母子・女性相談...(SA)

No.	カテゴリ一名	n	%
1	内容まで一応知っている	47	8.6
2	聞いたことはある	233	42.7
3	知らない	215	39.4
	無回答	51	9.3
	全体	546	100.0

(50) Q24-7.市の施策:人権身の上相談...(SA)

No.	カテゴリ一名	n	%
1	内容まで一応知っている	37	6.8
2	聞いたことはある	195	35.7
3	知らない	265	48.5
	無回答	49	9.0
	全体	546	100.0

(51) Q24-8.市の施策:家庭のもめごと相談...(SA)

No.	カテゴリ一名	n	%
1	内容まで一応知っている	26	4.8
2	聞いたことはある	191	35.0
3	知らない	276	50.5
	無回答	53	9.7
	全体	546	100.0

(52) Q24-9.共同参画:男女雇用機会均等法...(SA)

No.	カテゴリ一名	n	%
1	内容まで一応知っている	205	37.5
2	聞いたことはある	207	37.9
3	知らない	87	15.9
	無回答	47	8.6
	全体	546	100.0

(53) Q24-10.共同参画:育児・介護休業制度...(SA)

No.	カテゴリ一名	n	%
1	内容まで一応知っている	199	36.4
2	聞いたことはある	203	37.2
3	知らない	96	17.6
	無回答	48	8.8
	全体	546	100.0

(54) Q24-11.共同参画:男女共同参画社会基本法...(SA)

No.	カテゴリ一名	n	%
1	内容まで一応知っている	56	10.3
2	聞いたことはある	201	36.8
3	知らない	241	44.1
	無回答	48	8.8
	全体	546	100.0

(55) Q24-12.共同参画:配偶者暴力防止法...(SA)

No.	カテゴリ一名	n	%
1	内容まで一応知っている	125	22.9
2	聞いたことはある	244	44.7
3	知らない	129	23.6
	無回答	48	8.8
	全体	546	100.0

(56) Q24-13.共同参画:セクシュアル・ハラスメント...(SA)

No.	カテゴリ一名	n	%
1	内容まで一応知っている	238	43.6
2	聞いたことはある	178	32.6
3	知らない	83	15.2
	無回答	47	8.6
	全体	546	100.0

(57) Q25.児童・生徒の男女平等意識を育てる為に...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	男女が協力して物事を進める必要性	308	56.4
2	一人ひとりの個性等を尊重する	315	57.7
3	家庭や家族の多様なあり方について	252	46.2
4	男女共に切磋琢磨できる部活動を	49	9.0
5	生活指導等で男女の別なく能力を	208	38.1
6	教員に男女平等の研修を推進する	89	16.3
7	管理職に女性を増やしていく	80	14.7
8	その他	20	3.7
9	特にない	3	0.5
10	わからない	13	2.4
	無回答	25	4.6
	全体	546	100.0

累計 (n)	累計 (%)
1362	249.5

(58) Q26.男女共同参画社会実現の為に市の施策...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	講習会や学習機会の充実	112	20.5
2	男女共同参画問題総合相談窓口の創設	47	8.6
3	女性の問題の実態調査や研究の実施	122	22.3
4	情報誌や資料コーナーの充実	55	10.1
5	むさしのヒューマン・ネットワークセンターの充実	28	5.1
6	就業で役立つ訓練・相談の実施	93	17.0
7	男女共同参画条例や宣言の制定	28	5.1
8	行動計画の推進とPRの強化	105	19.2
9	保育・介護制度の充実	246	45.1
10	女性の健康対策の充実	45	8.2
11	学校での男女平等意識を育てる教育	143	26.2
12	ドメスティック・バイオレンスの対策	37	6.8
13	市の審議会等への女性の登用推進	46	8.4
14	その他	9	1.6
15	特にない	18	3.3
16	わからない	47	8.6
	無回答	31	5.7
	全体	546	100.0

累計 (n)	累計 (%)
1212	222.0

(59) Q27.むさしのヒューマン・ネットワークセンターに期待する事...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	講座等の事業が充実していること	87	15.9
2	男女平等推進に必要な情報の提供	152	27.8
3	自主的な活動の為に会議室等の使用	46	8.4
4	活動をしている個人等の交流の場	137	25.1
5	企業セミナー等女性の就業支援を行う	102	18.7
6	男性の意識改革等の為に講座の充実	127	23.3
7	講座参加時に幼児を預かってくれる	91	16.7
8	問題解決の為に総合相談窓口がある	128	23.4
9	情報発信のホームページが充実	70	12.8
10	特に期待するものはない	60	11.0
11	その他	15	2.7
	無回答	59	10.8
	全体	546	100.0

累計 (n)	累計 (%)
1074	196.7

(60) F1.性別...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	男性	202	37.0
2	女性	328	60.1
	無回答	16	2.9
	全体	546	100.0

(61) F2.年齢...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	20～29歳	50	9.2
2	30～39歳	102	18.7
3	40～49歳	93	17.0
4	50～59歳	82	15.0
5	60～69歳	108	19.8
6	70歳以上	97	17.8
	無回答	14	2.6
	全体	546	100.0

(62) F3.婚姻状況...(SA)

No.	カテゴリ一名	n	%
1	未婚	122	22.3
2	既婚(配偶者あり)	331	60.6
3	既婚(配偶者なし)	71	13.0
	無回答	22	4.0
	全体	546	100.0

(63) F3-1.共働きの有無...(SA)

No.	カテゴリ一名	n	%
1	共にフルタイムの正社員	52	15.7
2	一方はフルタイムの非正社員	30	9.1
3	一方はパートタイムの非正社員	61	18.4
4	共働きをしていない	115	34.7
5	夫婦とも無職	62	18.7
	無回答	11	3.3
	非該当	215	
	全体	331	100.0

(64) F4.家族形態...(SA)

No.	カテゴリ一名	n	%
1	夫婦のみ(一世代世帯)	147	26.9
2	親と未婚の子ども(核家族)	197	36.1
3	親と子ども夫婦(二世代世帯)	27	4.9
4	親と子どもと孫(三世代世帯)	31	5.7
5	ひとり暮らし	85	15.6
6	その他	41	7.5
	無回答	18	3.3
	全体	546	100.0

(65) F5.一番下のお子さん...(SA)

No.	カテゴリ一名	n	%
1	1歳未満	11	2.0
2	1～2歳	22	4.0
3	3歳～小学校入学前	24	4.4
4	小学生	29	5.3
5	中学生	15	2.7
6	高校生	12	2.2
7	短大・各種学校・大学生	21	3.8
8	社会人	192	35.2
9	子どもはいない	176	32.2
	無回答	44	8.1
	全体	546	100.0

(66) F6.武蔵野市での居住年数...(SA)

No.	カテゴリ一名	n	%
1	1年未満	25	4.6
2	1年～3年未満	47	8.6
3	3年～10年未満	99	18.1
4	10年～20年未満	72	13.2
5	20年以上	289	52.9
6	わからない	0	0.0
	無回答	14	2.6
	全体	546	100.0

(67) F7.職業...(SA)

No.	カテゴリ一名	n	%
1	自営業(商工、サービス)	43	7.9
2	専門職、自由業	91	16.7
3	事務系の勤め人	91	16.7
4	労務系の勤め人	20	3.7
5	会社又は団体の役員	25	4.6
6	専業主婦・主夫	96	17.6
7	パートタイマー	48	8.8
8	学生	5	0.9
9	無職	89	16.3
10	その他	23	4.2
	無回答	15	2.7
	全体	546	100.0